事業所通信No.162

特定非営利活動法人はちくりうす
東京都目黒区鷹番3-14-9
Tel：03-3793-3012
Fax：03-5856-6700
E-mail：office@8curious.or.jp
https://www.facebook.com/8curious
編集担当：種村竜馬

月例会で虐待防止研修を実施しました！！

1月17日に鷹番住区センターで、虐待防止研修を開催しました。今回は他事業所に声掛けして3事業所からスタッフに参加していただき、総勢24名が参加。【虐待が起きる原因は→その防止方法】と【なぜ虐待が発覚しにくいのか→その対処法】をテーマにして、一環したグループワークで進行しました。

虐待って…いけない事ですよね。子供に対しても障害者に対しても高齢者に対しても、社会的な弱者と考えられる人達は、社会全体で守られるべき存在です。

支援者に特化して考えると、支援者は利用者に対して【優しく接しなければいけない・親切にしなければならない】等、自然発生的に自己脅迫してしまうのではないでしょうか。そうすると、元々できない親切を支援者は自身に強要して、「私がここまでやってあげているのに」とか「あなたの為にどれだけ大変な思いをしていると思っているの」とか、本末転倒の心理が発生し、虐待方面に至ってしまうのかもしれません。今自分ができる支援を行い、今自分ができない支援も徐々にできるようにしていく位の心構えで丁度いいのかもしれません。利用者とヘルパーが手と手を携えて、共に歩んでいけば虐待なんてきっと起こらない。今後も定期に開催していきます。参加者のアンケートでも定期的な開催を望む意見が多く見られました。　　（道祖土）

２・３月 ヘルパー月例会 総会のお知らせ

２月１日（土）　月例会『情報共有・契約更新』
１６時３０分～１８時３０分　鷹番住区センター

３月１３日（金）月例会『情報共有』
１０時～１２時　鷹番住区センター

月例会に参加できない場合は、ご連絡をお願いします。

３月１４日（土）総会
１８時～１９時３０分　　八雲住区センター

はちくりうすのホームページに記事を掲載しました！

はちくりうすのホームページに「ガイドヘルプの一日」という記事を掲載しました。はちくりうすの利用者さんと職員であるマルクスさんの外出に密着し、その様子をまとめて掲載しました。詳しくは,はちくりうすＨＰ上の「ガイドヘルプの一日」からご覧になれますので、ぜひ一読ください。これからも、はちくりうすに関する様々な内容をどんどん掲載する予定です。時折り、ホームページの方もご覧ください。　　（種村）

新型コロナウイルスにご注意ください！

中国の武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の拡大が日本にも波及し、多数の感染者が報告されています。私も３月に上海に旅行に行く予定でしたが、旅行会社に連絡してキャンセルしました。予防のためには、こまめな「手洗い、うがい」や外出時のマスク着用などの基本的な行動が重要だそうです。皆さんも、人混みが多いところや遠出する際は、くれぐれも気を付けて、感染しないような行動を心がけてください。　　（種村）

津久井やまゆり園事件の集会に参加して

2020年１月11日に行われた津久井やまゆり園事件の初公判後の集会「私たちは津久井やまゆり園事件の“何”を裁くべきか？」に参加してきました。

集会では、植松被告が「障害者はかわいい」と言い「障害者には親切にしなければいけない」と思っていたが、働いている人達が色々な改革に立ち上がらない中で、段々と「こういう状態の中で生きている意味がない」という思いがつのり、やまゆり園の中で彼の理想が壊れていったのではないかという話がありました。

土・日入所支援では、職員が少ないため、ほとんどがドライブ。外に出る事は無く、他の施設職員はこういうドライブを「監禁ドライブ」と呼んでいるそうです。

日常の日中支援では、全員を連れて行くのは予算がないので作業棟に行ける利用者を選んで連れていくので「ピックアップ」と呼ばれていた。（予算は取れているのではないか？共同会の繰越は10億くらいあるという意見もありました）ピックアップから漏れた利用者は日中はほぼ放置されていて、気力も無くなり、体力も無くなる。車椅子固定や部屋への施錠もあった。

そういう状況の中で、植松被告は生きているように見えず「死んだ方が良い」と思ったのではないか。と保護者からの声がありました。

また、30億をかけてやまゆり園を再建する財源があれば全員が地域で暮らせる。一人一人が暮らしたい場所で暮らしたい人と生きていくのが理想だが、現在は出来ていないという発言もありました。

今回の被害者の匿名について、植松被告は「殺した人たちは人間ではないのだと知って安心した」と言ったと言われています。

「津久井やまゆり園を考え続ける会」は、今回の裁判での「匿名」と「目隠し遮蔽」は犠牲者の人権と尊厳に深く関わる人間的な問題であるとして批判声明を発表しました。それは障害者に対する差別そのものである、といえるからです。

世間体の「恥」とは何か？それは私たちに対しても問われるものなのです。遺族は加害者でもあり被害者の立場にも追いやられ「匿名」を選んでしまったとも言えます。今回の措置は「障害者は不幸を作る事しかできません」と言っているのと同じことだと思います。

３月16日に判決の予定。　　（島村）

中京テレビからはちくりうすの利用者さんが取材を受けます！

1月27日に中京テレビの記者の方がはちくりうすの事務所に来て取材を行いました。櫻原さんが記者の方に柿のたねの創世記の話やはちくりうすの生い立ちの話をしました。記者の方のお子さんも障害があり、共感する面が多かったようです。これから、はちくりうすの利用者の方に取材をして、番組制作の糧にするそうです。福祉の実情を広げるこのような活動がもっと増えて、少しでも社会にいい変化が社会に起こることを願っています。

（種村）

編集後記

先日、成人式に伴い出身の中学校と高校の同窓会に参加しました。久しぶりに会う友人との会話に心が躍り、とても素敵な時間を過ごせました。みんないろんな方面で頑張っていて、自分も負けてられないという気持ちになりました。みなさんは、旧友と会う機会はありますか？せっかく築いた友人との関係を、これから大切にしたいと思います。（種村）